

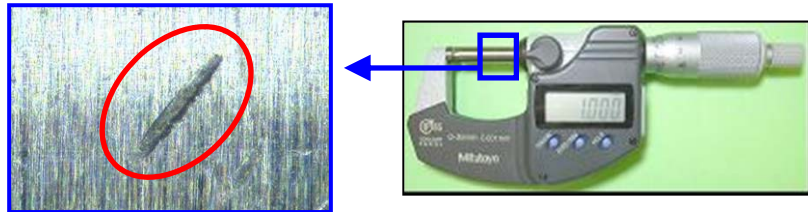
故障かな？ と思われたら ご確認ください ～ マイクロメータ ～

Q1:スピンドルの作動が悪い。①

👉 スピンドルにキズはありませんか？

スピンドルにキズが入ると、スピンドル後退時にキズの部分が干渉し作動が重くなります。

元の機能に戻すためには**引取り修理**が必要となります。



本体への衝撃や鋭利な部分での接触等は避けてください。

Q2:カウント数値の異常・作動が悪い。

👉 スピンドルストロークを超えて作動させていませんか？

デジマチックマイクロメータのシンブルを後退させ過ぎますと内部のセンサが破損し、カウントの異常や作動が悪くなる原因になります。

元の機能に戻すためには**引取り修理**が必要となります。



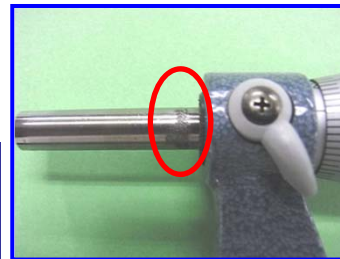
デジタルマイクロメータは**スピンドルが抜けない構造**になっていますので測定範囲を超えて**無理に後退させない**てください。

Q1:スピンドルの作動が悪い。②

👉 スピンドルに錆が発生していませんか？

スピンドルにごみやほこりが付着してしまうとスピンドルに錆が発生し易くなり、錆が干渉し作動が重くなります。

元の機能に戻すためには**引取り修理**が必要となります。



ご使用後は、本体に付着した**ごみやほこり**は柔らかい布で拭取って下さい。

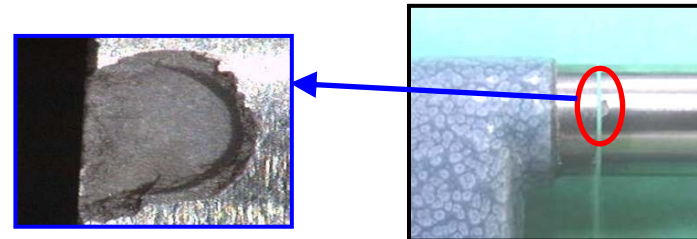
未使用期間等は湿気やほこりの多い場所での保管は避けてください。

Q3:実測値が安定しない。

👉 測定面が欠けていませんか？

測定面に衝撃が加わりますと測定面にカエリや欠けが発生し精度に影響することがあります。

元の機能に戻すためには**引取り修理**が必要となります。



測定面や本体には**衝撃**を与えないでください。